

中川連合町内会「デジタル化」アンケート結果



中川連合町内会9月定例会で各自治会町内会長・各種団体代表にご回答いただきました、「デジタル化アンケート」の結果は下記の通りです。(質問2・3・5 複数回答あり)

質問1	リモート会議の経験はありますか？	ある 44%	ない 56%
質問2	使用しているWeb会議ツールは？	LINE 28% Messenger 4% Skype 18% Zoom 37% Google Meet 4% Microsoft Teams 9%	
質問3	現在、お持ちのデジタル機器は？	パソコン 42% タブレット 13% スマホ 36% 携帯 8% ない 1%	
質問4	ご自宅にインターネット環境はありますか？	ある 88%	ない 12%
質問5	ご自宅のインターネット環境は何を使用していますか？	光回線 30% Wi-Fi 44% モバイルWi-Fi 4% ケーブルテレビ 22%	
質問6	中川連合がリモート会議を実施することに賛成ですか？	賛成 77%	反対 23%
質問7	資料をペーパレスにすることに賛成ですか？	賛成 76%	反対 24%



LINE



Messenger



Skype



Zoom



Google Meet



Microsoft Teams

ホームページの活用

デジタル化の第一歩として、中川連合町内会ホームページの活用からはじめていきたいと思います。

『泉区連合自治会町内会長会』ホームページの『中川連合町内会』のページに連絡事項等を都度更新していくので、ご確認ください。

また、各自治会町内会の住民の皆様が気軽に情報の確認ができるように、泉区のホームページ開設出前講座を実施し、自治会町内会で簡単に作成可能なホームページ構築に協力していきます。

中川連合町内会
ホームページ
QRコード



リモート会議について

今回のアンケートでは、リモート会議に賛成の方が7割を超える結果となりました。しかし、インターネット環境・デジタル機器がない方もいることがわかりました。今すぐ、定例会参加者全員でのリモート会議を開始することは難しいと感じます。

- 《今後の予定》
- ★定例会でリモート会議の練習を実施。（Zoomを使用）
- ↓↓↓
- ★リモートでの参加希望の方は、リモートにて参加。

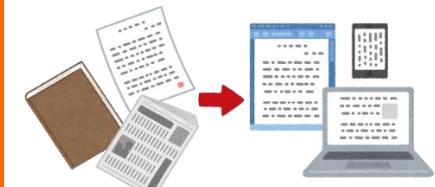


ペーパレスについて

今回のアンケートでは、ペーパレス化に賛成の方もリモート会議実施と同様に7割を超える結果となりました。ホームページを活用し、ペーパレス化に向けて、準備していきたいと考えています。

準備が整いましたら、ご報告いたします。
一歩一歩進めていきたいと思いますので、ご理解ください。

★紙の資料配布希望の自治会町内会・各種団体には、紙の資料を配布いたします。



岡津第一町内会

『役員体制』



『町内会の特長』

岡津第一町内会は、岡津町の最も東側に位置しています。会員は約500世帯で、55班あります。役員の任期は2年間で、約40人。班長は持ち回りで1年交代です。役員や班長が中心となって、お知らせの回覧や広報の配布のほか、防災訓練や防犯パトロール、ごみ集積所やごみかごの維持管理などを行っています。子供会やゆうゆうクラブ(老人会)も活発です。また、社会福祉協議会の募金活動や交通安全運動、敬老会など地域の行事に積極的に協力したり、連合町内会の大運動会では、子ども達やシニアなど皆が毎年大活躍で何回も優勝するなど、元気な町内会です。

安全であり、安心して住める町づくり

～この町（岡津）に住んで良かった～

『例年実施のイベント・今後の方針』

町内会の最大のイベントは、夏祭り。

例年8月の第一土曜日に横浜農協中川支店の広場で行っています。焼きそば・焼き鳥・フランクフルト・綿あめなどの模擬店は、いつも大人気。スイカ割りには、たくさんの子ども達が参加します。会場の真ん中には、四隅に竹を飾った大きな櫓。岡津太鼓の鳴り響く中、浴衣姿も艶やかな女性が中心となり、盆踊りの大きな輪ができます。また、日帰りのバスツアーによる社会見学や手芸教室なども実施し、会員の交流や親睦を深めています。



『課題』

◆防災の充実

地震発生時の近所での安否確認など、共助の組織づくりを進めていますが、まだまだ始めたばかり。いざと言うときに実践できるよう、これから、町内会が中心となって取り組む必要があります。

◆会員の増加

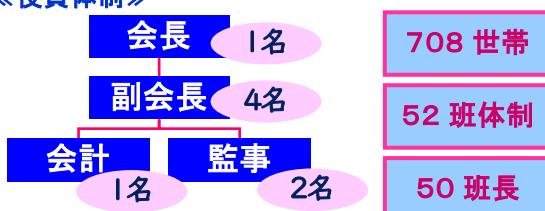
現在、約650世帯のうち、約500世帯が会員となっています。防災などの充実に向けて、地域の自治組織である町内会への加入を呼びかけていく必要があります。

◆役員の確保

役員は在任期間が長く、年々、高齢化しています。役員をどのように確保していくのか、今後、町内で考える必要があります。

弥生台自治会

『役員体制』



『活動方針』

過去の自治会活動にとらわれず、自治会の重点活動方針を「レクリエーション関係行事」から「防犯対策・防災有事の備え」に方向転換しました。

また、自治会活動を担う班長の活動の負担軽減策を進め、高齢化社会での自治会のあるべき姿を目指しています。



『特色』

「暮らし易い街事業」として、蚊対策・防災対策を中心に活動を実施しています。

- ①蚊対策として、4月～10月の間、毎月雨水樹等に薬剤を投入し、蚊の発生を抑止しています。
- ②防災対策として、横浜市の自治会第1号として補助金を活用して「マンホールトイレ」を設置しました。
- 会員向けに「防災ハンドBOOK」「WithコロナハンドBOOK」を作成し、全世帯に配布しました。

防災
BOOK
with
コロナ

変わろう！弥生台 ❤ 変えよう！弥生台

『年間実施のイベント・今後の方針』

◆行事見直し(活動方針の転換に伴い、各種行事を見直しました。)

- ①中川連合で唯一単独で実施していた「運動会」を中止としました。
- ②自治会館に来場してもらい開催する「高齢者祝賀会」は、節目のお祝いをする形式に変更しました。
- ③「防災訓練」を充実させ、「餅つき大会」と一体化して実施する事にしました。
- ④自治活動に幅広い世代に関心を持ってもらうために「赤ちゃん誕生日い」「小学校入学お祝い」を新設しました。
- ⑤「盆踊り大会」は従来通り継続実施します。



◆支援組織

自治会活動の支援をする組織「弥生台サポートーズ」を組成し、役員・班長の負担軽減を実現しました。

『課題』

- (1)**非会員**：自治会内世帯の約半数が自治会非会員であるため、継続的に入会の推進が必要です。
- (2)**班体制**：班によっては数世帯の班もあり、班長不在の班も存在しており、班長の輪番サイクルが短縮化する傾向になっています。班編成を全面的に見直し、1班20世帯以上とする見直しが必要です。
- (3)**ゴミ問題**：自治会非会員が自治会設置のゴミ捨て場を使用しており、ゴミ出しマナーが徹底できず、ゴミが散乱し会員による清掃負担が高まっています。
- (4)**防災拠点**：弥生台自治会にとって、西が岡小学校の防災拠点は遠距離であるため、自治会地域内に防災拠点の開設を行政に働きかけ、会員の有事における避難場所を確保する必要があります。
- (5)**連合活動**：高齢化する班長の負担軽減を図るため、中川連合への活動参画をどのようにするか検討する必要があります。

西が岡第一自治会

《役員体制》



《活動方針》

防犯、防災活動を展開し、会員相互の親睦をはかり、生活環境を良好に保ち、又向上させることによって、より良い地域社会を作り上げることを目的としています。

安全で安心な住みよい町づくり

《例年実施のイベント・今後の方針》

◆年間行事

理事会・班長会・公園・遊歩道掃除(毎月)・定期総会(4月)
 夏祭り(8月)・敬老会(9月)・西が岡第一自治会防災訓練(10月)
 西が岡地区3自治会合同のバスハイク(10月)
 地域防災拠点訓練(11月)



◆取り組み

年末防犯パトロール、防犯灯管理
 行政・学区小中学校や公共施設等からの情報の広報活動



本年度はコロナ禍で会合はメールや文書でのやり取りが中心となりました。各行事もほとんど中止となりましたが、できる範囲での活動、特に防災に関してはコロナ禍での災害時の心得等を会員に周知する活動を予定しています。

《課題》

◆会員数の減少、理事の担い手不足

コロナ禍は自治会活動の在り方を考える良い機会となりました。
 令和の新しい生活に合わせて、持続可能な自治会に変化させていく取り組みをしています。



領家自治会

《役員体制》



《実行組織》



《活動方針》

- ①災害時の減災に向けた自主防災訓練や防犯パトロール、防犯カメラの設置などを行っています。
- ②高齢者サロン、子育てサロン、シニアクラブ、居場所づくりなど、ご近所同士の絆を深め、福祉や健康増進を図るために活動を支援しています。
- ③領家地区の住環境を維持するため、都市計画法に基づく「地区計画」の決定と横浜市条例に基づく「まちづくり指針」を定めています。

安全・安心・快適な街づくり

《領家自治会独自事業》

役員会(毎月1回)・班長会(毎月1回)・定期総会(4月)・さわやか清掃(年4回)・月例清掃(年8回)・防犯パトロール(週1回)・夏祭り(8月)・敬老の日お祝い会(9月)・自主防災訓練(11月)・文化講習会(12月)・餅つき大会(2月)・領家サロン(月1回)・領家子育てサロン(月1回)・領家シニアクラブ(通年)・あいあい領家[居場所](週1回)



《中川連合町内会行事・地域イベント》

三嶋神社例大祭(9月)・中川連合町内会運動会(10月)・中川ふりあいまつり(11月)・領家中学校地域防災拠点防災訓練(1月)

《課題》

◆高齢化による会員の減少(高齢を理由とする自治会の退会)

高齢に伴い班長の業務が負担となり自治会を退会する世帯があります。

◆役員の担い手不足・自治会活動への参加者の減少

自治会の規模を生かしながら、役割を分担し、部会の業務や行事の見直し、あるいは実施方法の変更、ノウハウの継承など、役員、特に会長職の負担を軽減するため、自治会検討委員会を立ち上げ検討をはじめています。

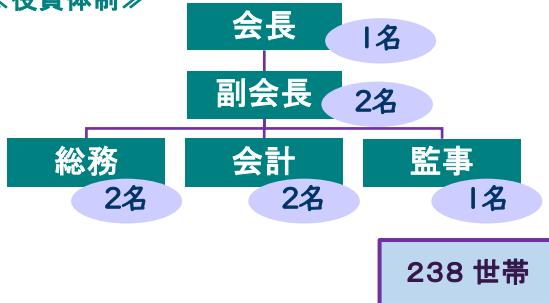
◆情報の共有

働く世帯の中には、忙しく殆ど回覧板は見ずに回しているという世帯も見受けられます。



ルネ戸塚弥生台自治会

《役員体制》



《ルネ戸塚弥生台自治会の特長》

- ◆マンション建設後30年という節目を過ぎた。
- ◆当初から自治会と管理組合の2本立てで、協力しながら運営してきている。
※例えは防災活動については、合同で「防災委員会」を組織



安心・安全で住みよいコミュニティーに！

《例年実施のイベント》

定例会(毎月)・定期総会(4月)・ルネ祭り(8月)・
ルネ敬老の集い(9月)・竹ノ鼻公園の清掃(毎月)・
ルネ防災訓練(11月)・中川連合大運動会への参加(10月)・
中川ふれあいまつりへの参加(11月)・地域防災訓練への参加(1月)



《ルネ祭りの内容変更》 ※2019年に大幅に見直し、実行した。

- ◆30年経過で住民の高齢化も進み、盆踊りの櫓等準備・片付け作業や模擬店作業の負担軽減と安全確保が必要になってきた。盆踊りへの参加者も少なめであったことから、ルネの皆さんがあつと楽しめる夏祭りにできないかと見直し、企画した。
- ◆盆踊りは中止し、お孫さん、子供達も一緒に3世代で楽しめるよう、子供会と協力してゲーム大会、スイカ割り大会、全員参加ゲーム等を中心にして、盛り上がる夏祭りになった。
- ◆模擬店も、地域との連携を図る意味も含め、地域の協力店に出店をお願いし、住民の負担の軽減を図ることができた。

《課題》

- ◆自治会役員の担い手不足(住民の高齢化や、新入居者は共働きの方も多く、自治会活動への協力が難しくなってきている。)
- ◆ルネ祭りの負担軽減策が好評であったことから、今後も可能な限り省力化、簡素化に努めていきたい。
- ◆2020年は新型コロナウイルス禍で自治会主催の行事が全て中止となり、住民間のコミュニケーションも取れにくい状況となってきた。感染の収束が未だ見えない中、自治会として住民の連帯感をどのように維持できるか、可能な方策を考えていく必要がある。

「横断歩道で 手を上げて」



【交通安全対策委員会】

信号機の無い横断歩道は、道路交通法では歩行者がいる場合、車に停止義務があると定めているが、信号機の無い横断歩道では、止まらない車が多い。1年ほど前、外国人観光客が日本では横断歩道で車が止まらないと指摘された記憶がある。ドライバーが歩行者に気付かないことや、手を上げてドライバーに横断の意思を伝えないケースが多いからだという。

長野県の女子高校生が長年夏休みの自由研究として調査を続けてきた結果、横断歩道を渡る前に手を上げた時と、そうでない時の車の停止する割合を比較した。手を上げない時は35%だったのに対し、手を上げた時は88%という結果が出た。（読売新聞）手を上げてドライバーに横断の意思を伝えることが大切だと考えるのは当然である。

交通安全対策委員会では、横断歩道にスクールゾーン対策協議会で設置を要望している横断旗の設置が有効な対策とみて、現在横断旗が設置されている横断歩道や横断旗の使用状況や破損の調査を進めている。



また地区内の交通量調査と共に、狭い県道への歩道の新設など要望書をまとめたいと考えている。

【編集後記】

新型コロナウイルス感染症拡大の中、コロナと共に存する生活=「新しい生活様式」を自治会町内会活動でも考える必要があります。

中川連合でもデジタル化やリモート会議等を前向きに取り入れたいと考えています。“やっちゃん！ 中川連合！！”

★次号の中川の風〔第7号〕は、自治会町内会紹介PART2です。お楽しみに！！



中川連合町内会 小泉正彦

横浜市泉区岡津町2085 TEL/FAX 045-812-1957

中川連合町内会メールアドレス : nakagawa_rengou@yahoo.co.jp

